

原子力防災資機材現況届出書

東大安環第 86-2 号
令和 4 年 10 月 4 日

原子力規制委員会 殿

届出者

住所 東京都文京区本郷七丁目3番1号

氏名 国立大学法人東京大学
学長 藤井 輝夫

原子力防災資機材の現況について、原子力災害対策特別措置法第11条第3項の規定に基づき届け出ます。

原子力事業所の名称及び場所	東京大学大学院工学系研究科原子力専攻 茨城県那珂郡東海村白方白根2番22号		
放射線障害防護用器具	汚染防護服		28 組
	呼吸用ボンベ付一体型防護マスク		5 個
	フィルター付防護マスク		28 個
非常用通信機器	緊急時電話回線		1 回線
	ファクシミリ		1 台
	携帯電話等		10 台
計測器等	排気筒モニタリング設備その他の固定式測定器	ガスモニタ	1 台
		ダストモニタ	1 台
	ガンマ線測定用サーベイメータ		4 台
	中性子線測定用サーベイメータ		2 台
	空間放射線積算線量計		10 個
	表面汚染密度測定用サーベイメータ		2 台
	可搬式ダスト測定関連機器	サンブラ	4 台
		測定器	1 台
	可搬式の放射性ヨウ素測定関連機器	サンブラ	2 台
		測定器	1 台
	個人用外部被ばく線量測定器		40 台
その他	エリアモニタリング設備		台
	モニタリングカー		台
その他資機材	ヨウ素剤		400 錠
	担架		1 台
	除染用具		1 式
	被ばく者の輸送のために使用可能な車両		1 台
	屋外消火栓設備又は動力消防ポンプ設備		1 式

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

2 「排気筒モニタリング設備その他の固定式測定器」の後の空欄には、設備の種類を記載すること。